

札幌市

要介護（支援）認定者意向調査

報告書（概要版）

目次

1	調査の概要	1
2	回答者ご本人について	2
3	介護保険との関わり	4
4	介護（予防）サービスの利用状況	6
5	介護（予防）サービス未利用の方の状況	8
6	今後の暮らし方	9
7	介護保険料と介護サービス	11
8	介護者の状況	13
9	家族介護者の状況（家族介護者への質問）	14

1

調査の概要

〔調査の目的〕

本調査は、介護保険サービスの利用状況や家族による介護の状況などを把握し、平成 30 年度を始期とする新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定や介護保険事業の実施に当たっての基礎資料とすることを目的として実施した。

〔調査対象〕

平成 28 年 10 月 11 日時点で要介護（支援）認定を受けている札幌市民（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の利用者を除く）から 5,000 人を無作為に抽出した。

〔調査方法〕

郵送による調査票の発送・回収

〔調査期間〕

平成 28 年 11 月 8 日 ～ 平成 28 年 11 月 25 日（調査基準日：平成 28 年 11 月 1 日）

〔回収状況〕

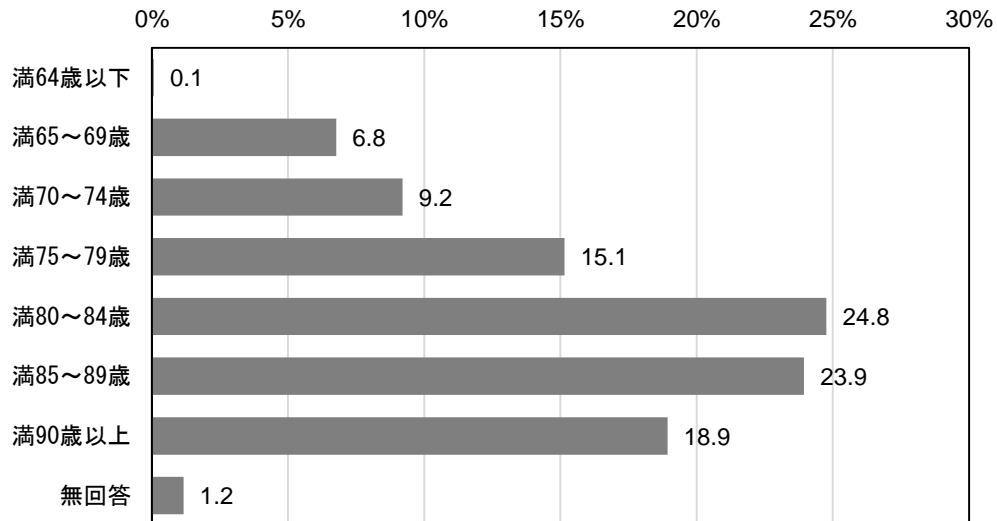
発送数	5,000 件
回収数	2,916 件 (58.3%)
有効回収数	2,911 件 (58.2%)

2

回答者ご本人について

◆ 年齢

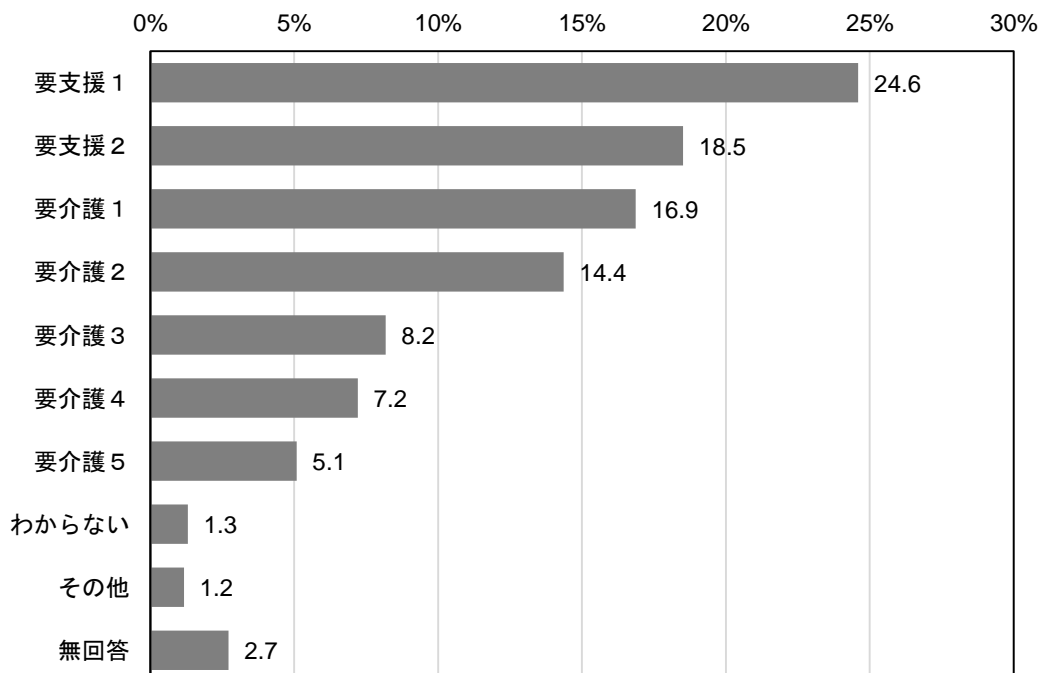
- ・現在の年齢については、「満 80～84 歳」が 24.8%と最も多く、次いで、「満 85～89 歳」が 23.9%、「満 90 歳以上」が 18.9%となっている。



(N=2,911)

◆ 介護度

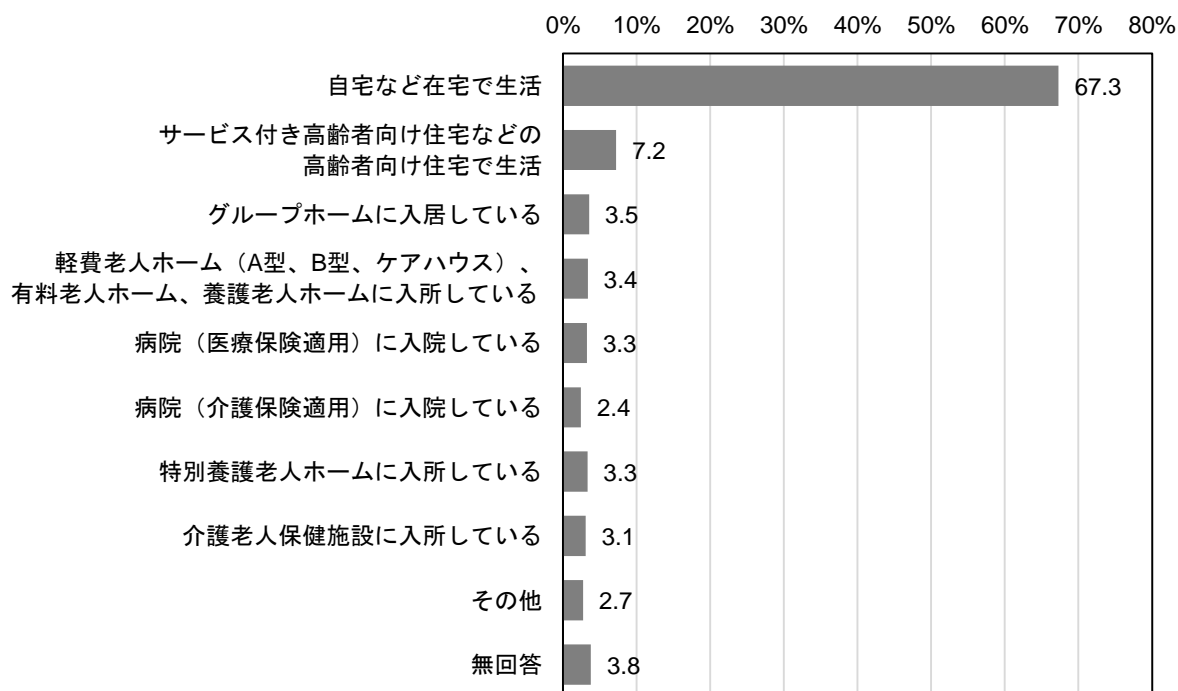
- ・介護度については、「要支援 1」が 24.6%と最も多く、次いで、「要支援 2」が 18.5%、「要介護 1」が 16.9%となっている。



(N=2,911)

◆ 現在の生活場所

- ・現在の生活場所については、「自宅など在宅で生活」が67.3%と最も多く、次いで、「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅で生活」が7.2%となっている。



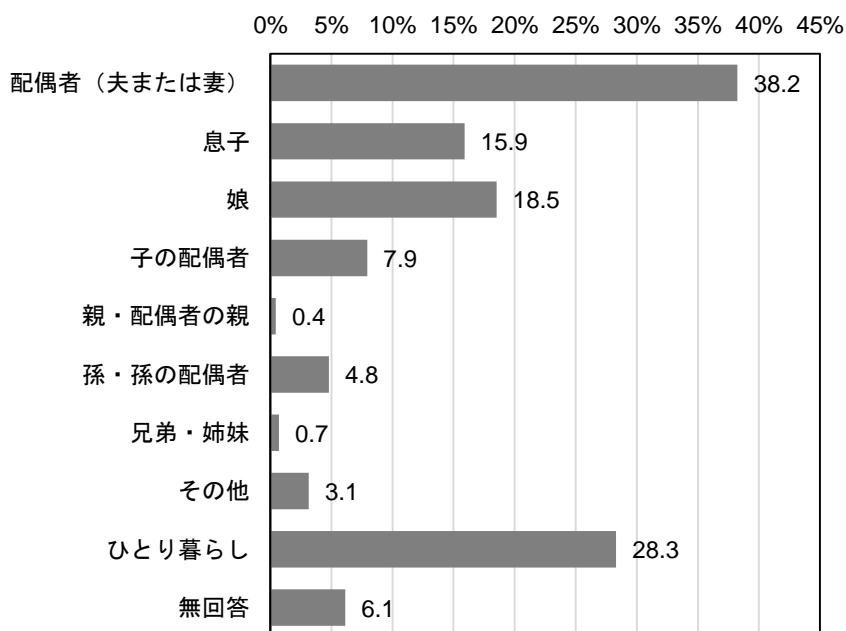
(N=2,798)

※「サービス付き高齢者向け住宅」とは、安否確認や生活相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。

◆ 同居者の状況

(複数回答)

- ・同居者の状況については、「配偶者（夫または妻）」が38.2%と最も多く、次いで、「ひとり暮らし」が28.3%、「娘」が18.5%となっている。



(N=2,445)

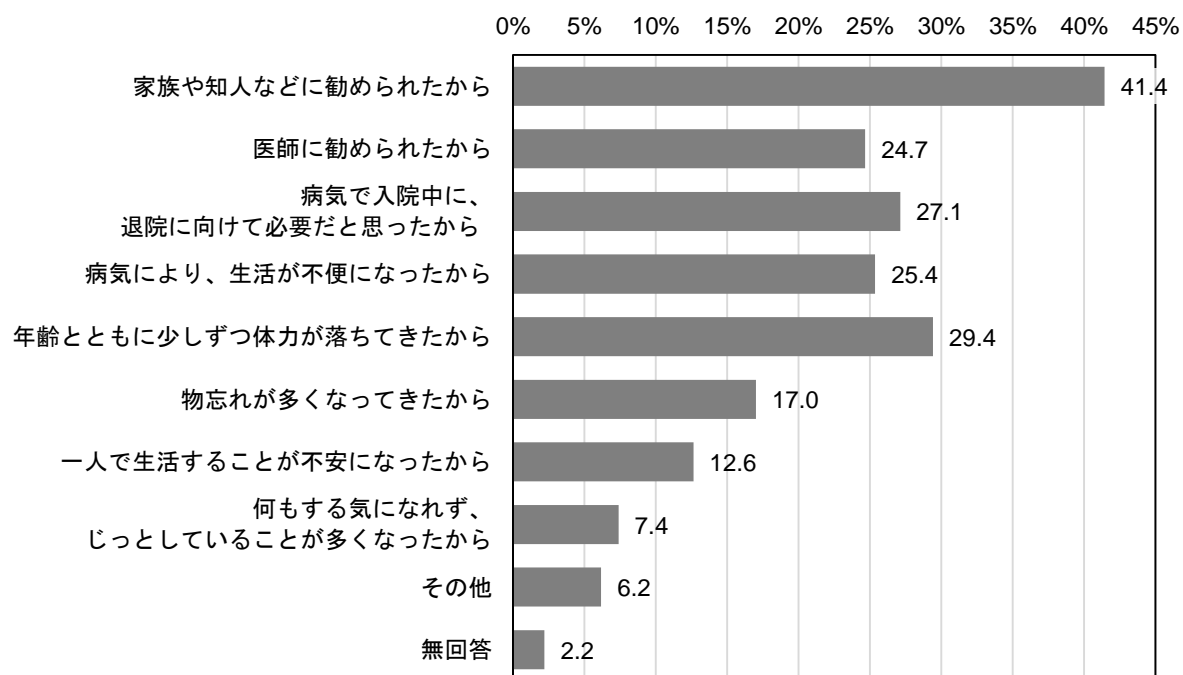
3

介護保険との関わり

◆ 認定を受けたきっかけ

(複数回答)

- ・認定を受けたきっかけについては、「家族や知人などに勧められたから」が41.4%と最も多く、次いで、「年齢とともに少しずつ体力が落ちてきたから」が29.4%、「病院で入院中に、退院に向けて必要だと思ったから」が27.1%となっている。

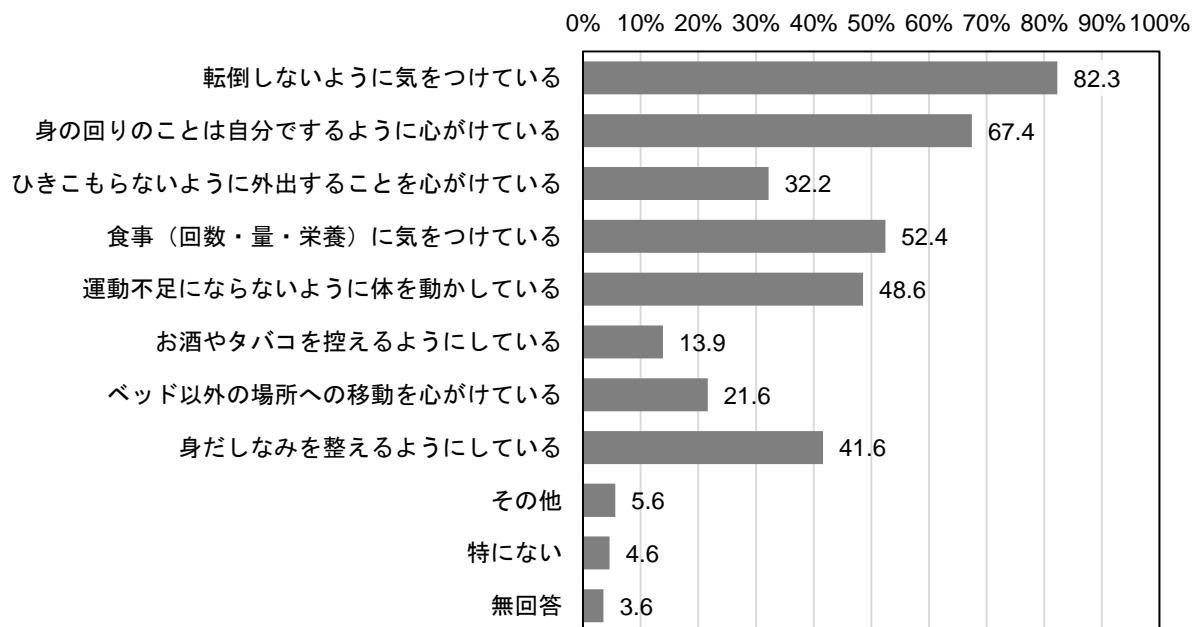


(N=2, 445)

◆ 介護度が重くならないように気をつけていること

(複数回答)

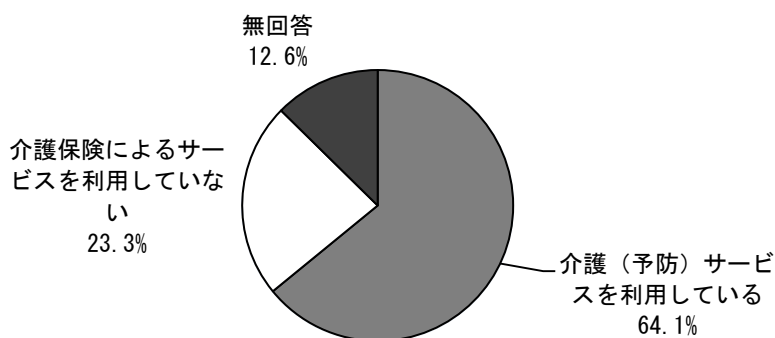
・介護度が重くならないように気をつけていることについては、「転倒しないように気をつけている」が82.3%と最も多く、次いで、「身の回りのことは自分でするように心がけている」が67.4%、「食事（回数・量・栄養）に気をつけている」が52.4%となっている。



(N=2, 445)

◆ 介護サービス利用の有無

・介護サービス利用の有無については、「介護（予防）サービスを利用している」が64.1%、「介護保険によるサービスを利用していない」が23.3%となっている。



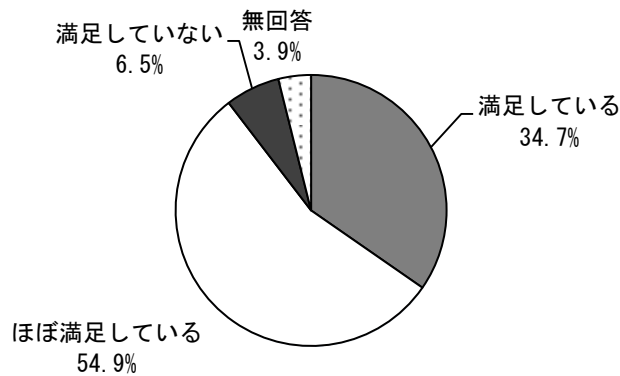
(N=2, 445)

4

介護（予防）サービスの利用状況

◆ サービス全体量の満足度

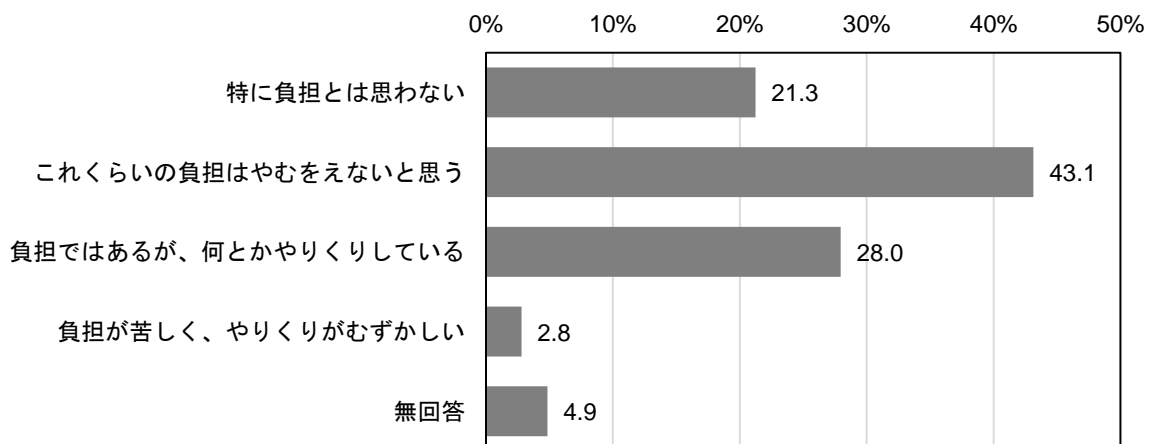
- ・サービス全体量の満足度については、「ほぼ満足している」が 54.9%と最も多く、次いで、「満足している」が 34.7%、「満足していない」が 6.5%となっている。



(N=1, 567)

◆ サービス利用料の負担感

- ・サービス利用料の負担感については、「これくらいの負担はやむをえないと思う」が 43.1%と最も多く、次いで、「負担ではあるが、何とかやりくりしている」が 28.0%、「特に負担とは思わない」が 21.3%となっている。

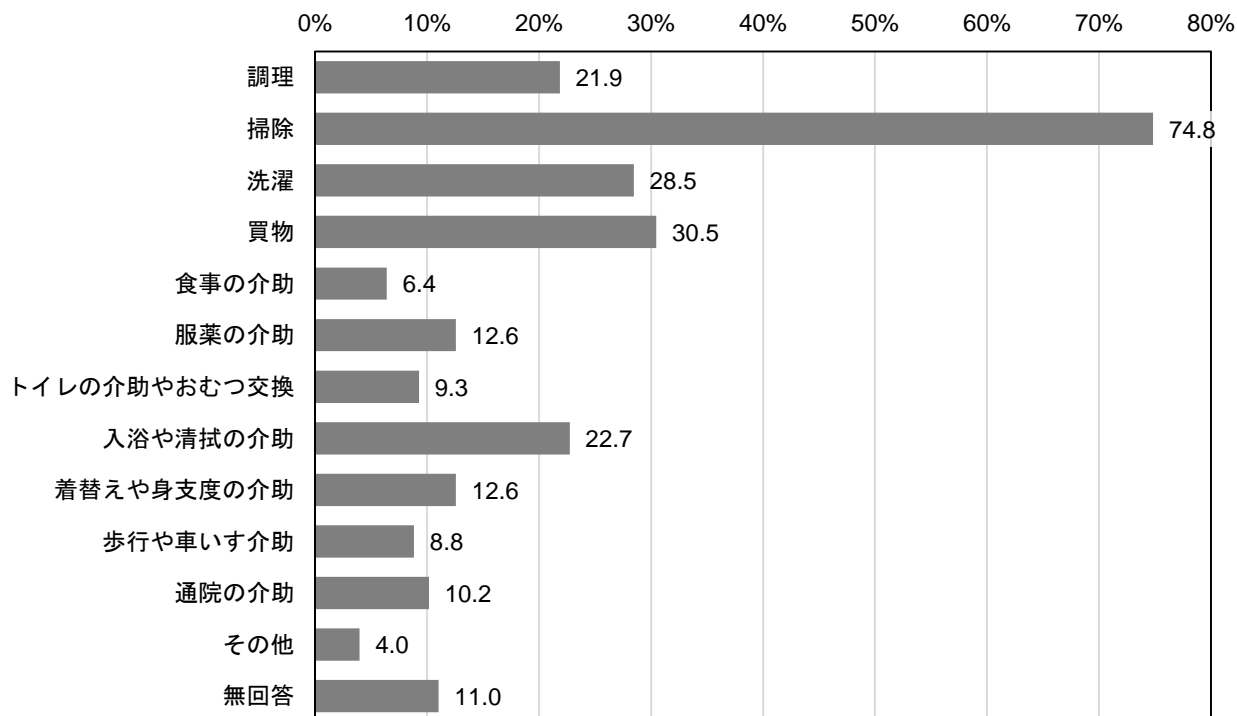


(N=1, 567)

◆ 訪問介護の利用状況

(複数回答)

- ・訪問介護の利用状況については、「掃除」が74.8%と最も多く、次いで、「買物」が30.5%、「洗濯」が28.5%となっている。

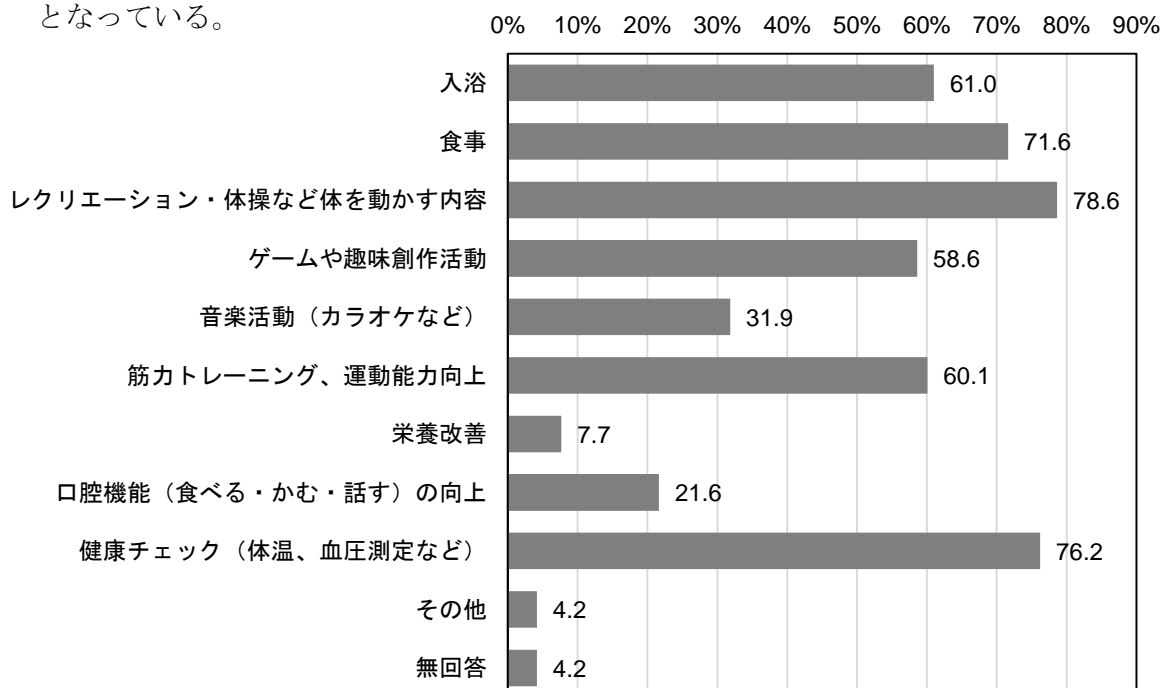


(N=453)

◆ 通所介護の利用状況

(複数回答)

- ・通所介護の利用状況については、「レクリエーション・体操など体を動かす内容」が78.6%と最も多く、次いで、「健康チェック（体温、血圧測定など）」が76.2%、「食事」が71.6%となっている。



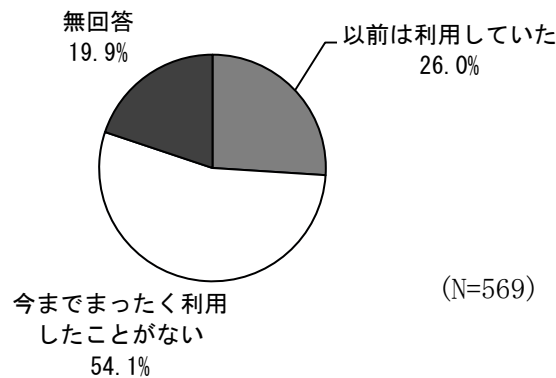
(N=744)

5

介護（予防）サービス未利用の方の状況

◆ サービスの利用経験

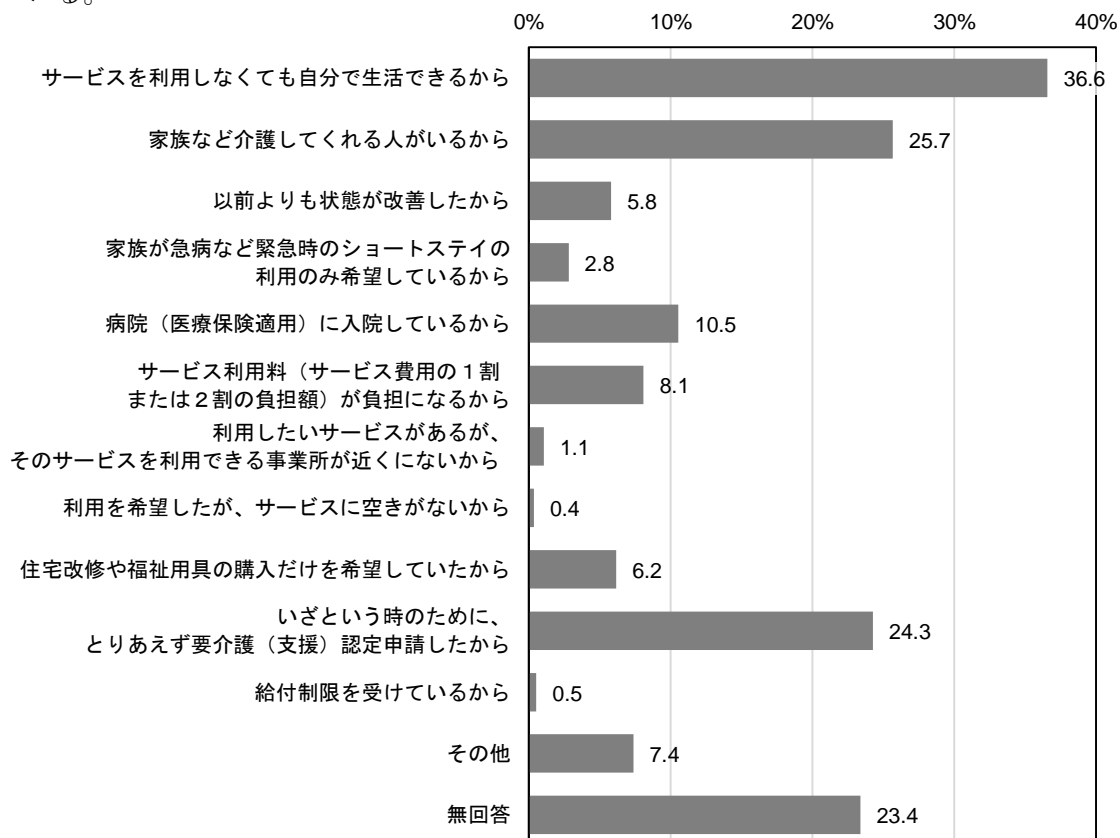
- ・サービスの利用経験については、「今までまったく利用したことがない」が54.1%、「以前は利用していた」が26.0%となっている。



◆ サービスを利用していない理由

(複数回答)

- ・サービスを利用していない理由については、「サービスを利用しなくても自分で生活できるから」が36.6%と最も多く、次いで、「家族など介護してくれる人がいるから」が25.7%、「いざという時のために、とりあえず要介護（支援）認定申請したから」が24.3%となっている。



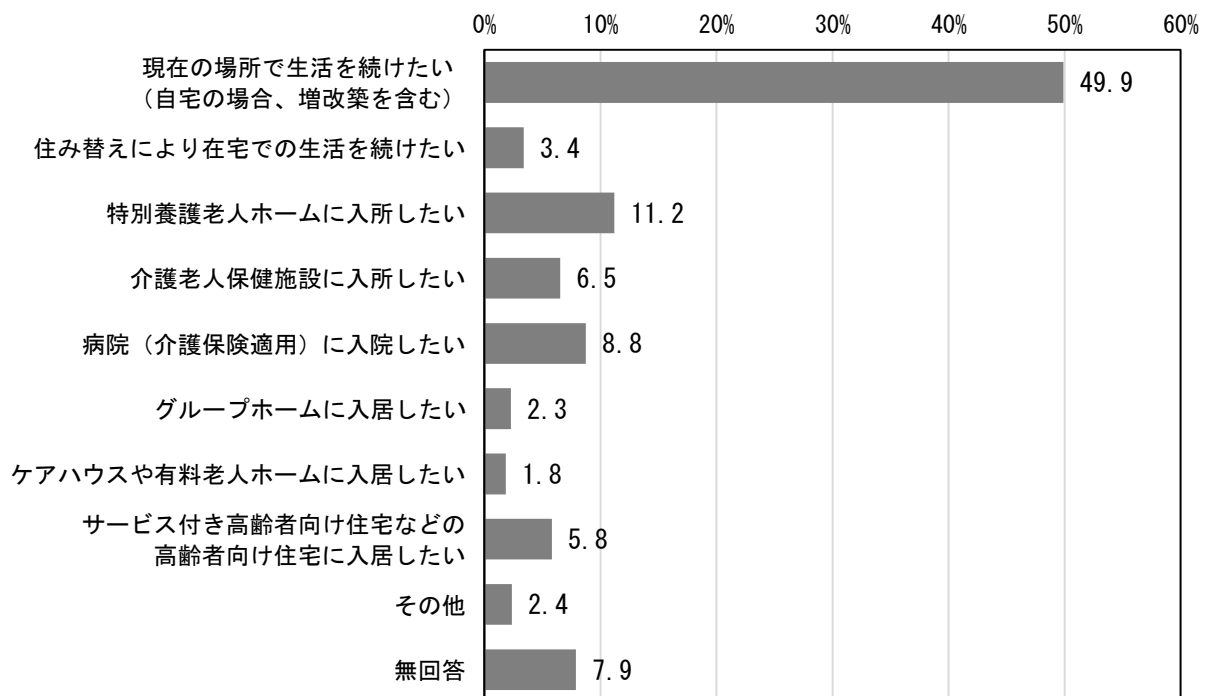
(N=569)

6

今後の暮らし方

◆ 介護度が重くなったときの生活場所

- ・介護度が重くなったときの生活場所については、「現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む）」が49.9%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホームに入所したい」が11.2%、「病院（介護保険適用）に入院したい」が8.8%となっている。

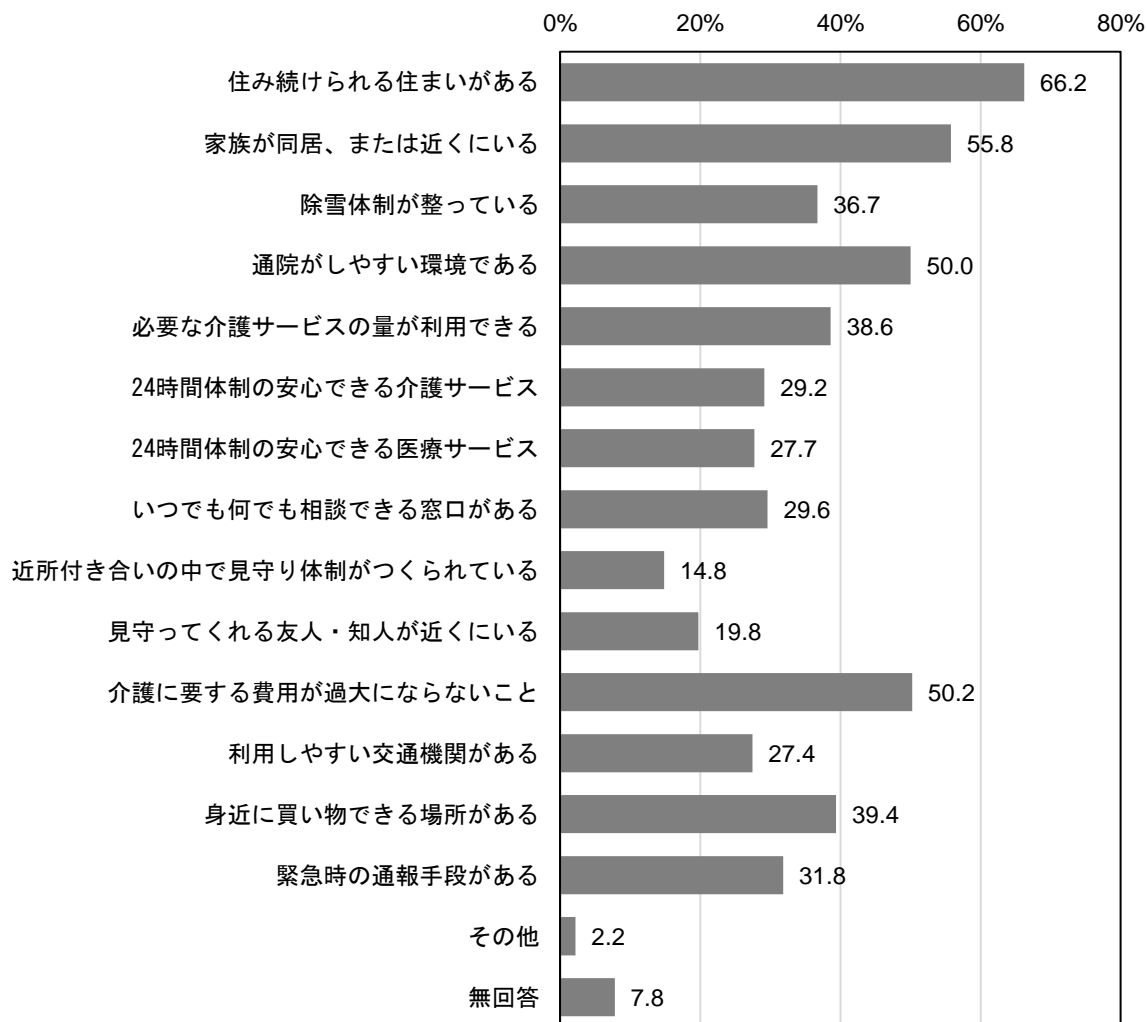


(N=2,445)

◆ **住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと**

(複数回答)

・住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことについては、「住み続けられる住まいがある」が 66.2%と最も多く、次いで、「家族が同居、または近くにいる」が 55.8%、「介護に要する費用が過大にならないこと」が 50.2%となっている。



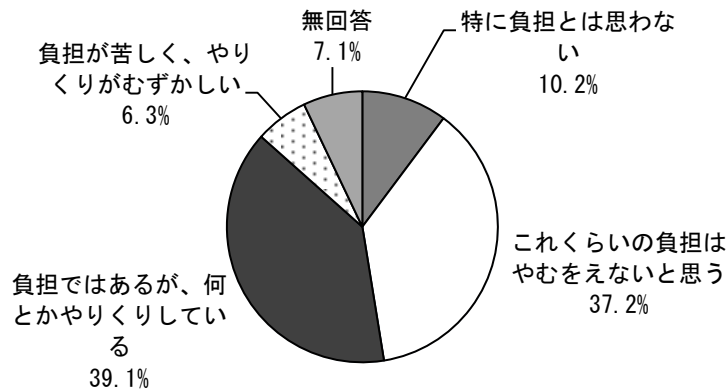
(N=2, 445)

7

介護保険料と介護サービス

◆ 介護保険料の負担感

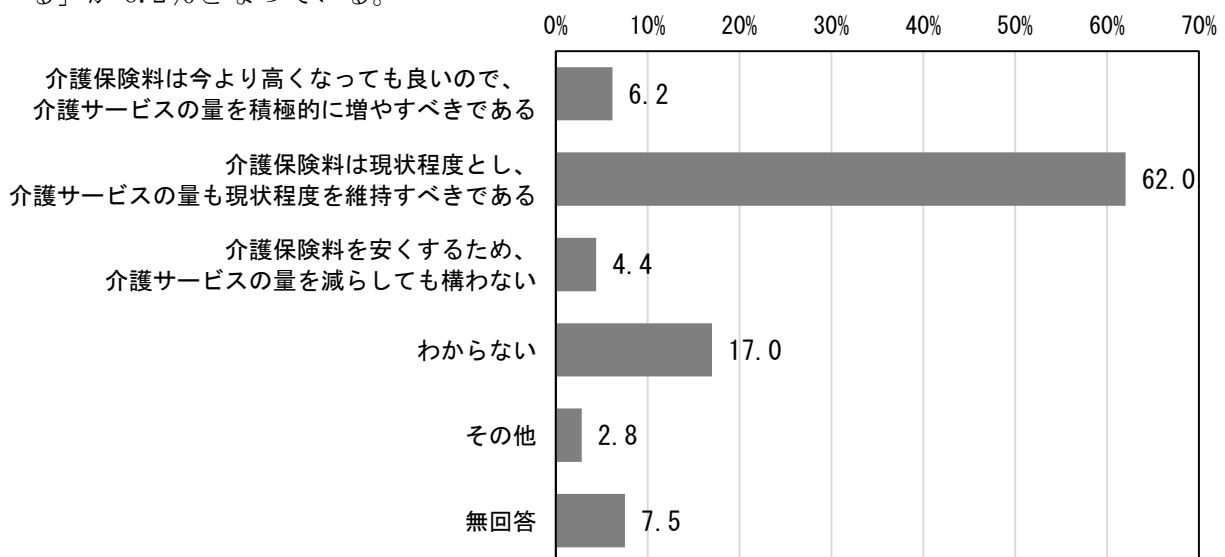
- ・ 介護保険料の負担感については、「負担ではあるが、何とかやりくりしている」が 39.1%と最も多く、次いで、「これくらいの負担はやむをえないと思う」が 37.2%、「特に負担とは思わない」が 10.2%となっている。



(N=2, 445)

◆ 介護サービスと保険料の関係について

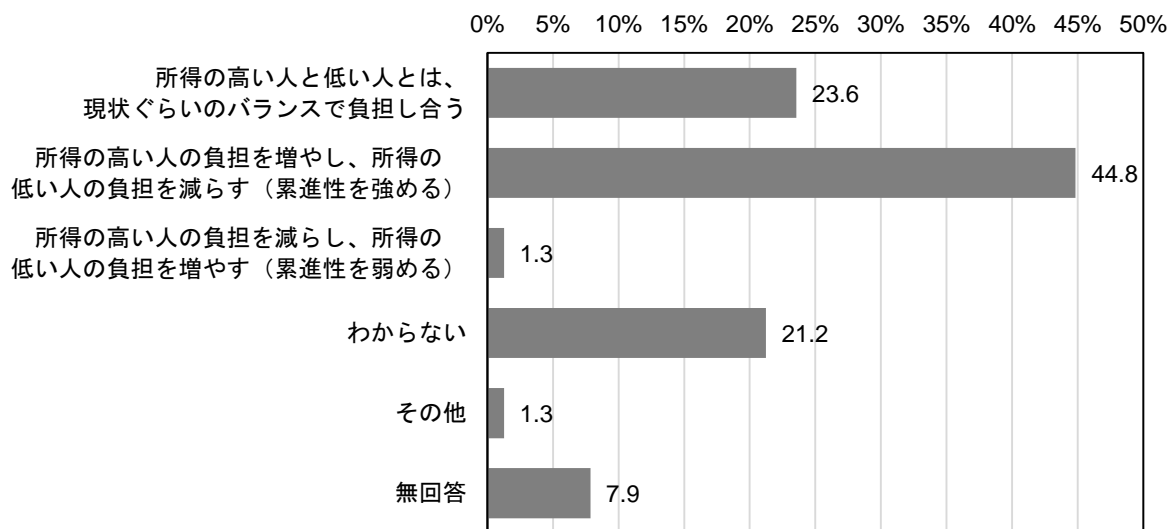
- ・ 介護サービスと保険料の関係については、「介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである」が 62.0%と最も多く、次いで、「わからない」が 17.0%、「介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスの量を積極的に増やすべきである」が 6.2%となっている。



(N=2, 445)

◆ 今後の介護保険料の負担のあり方

- ・今後の介護保険料負担については、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」が44.8%と最も多く、次いで、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」が23.6%、「わからない」が21.2%となっている。



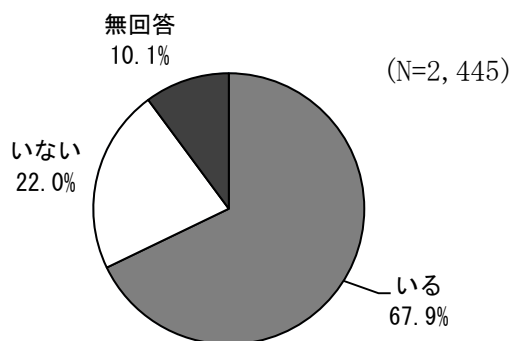
(N=2, 445)

8

介護者の状況

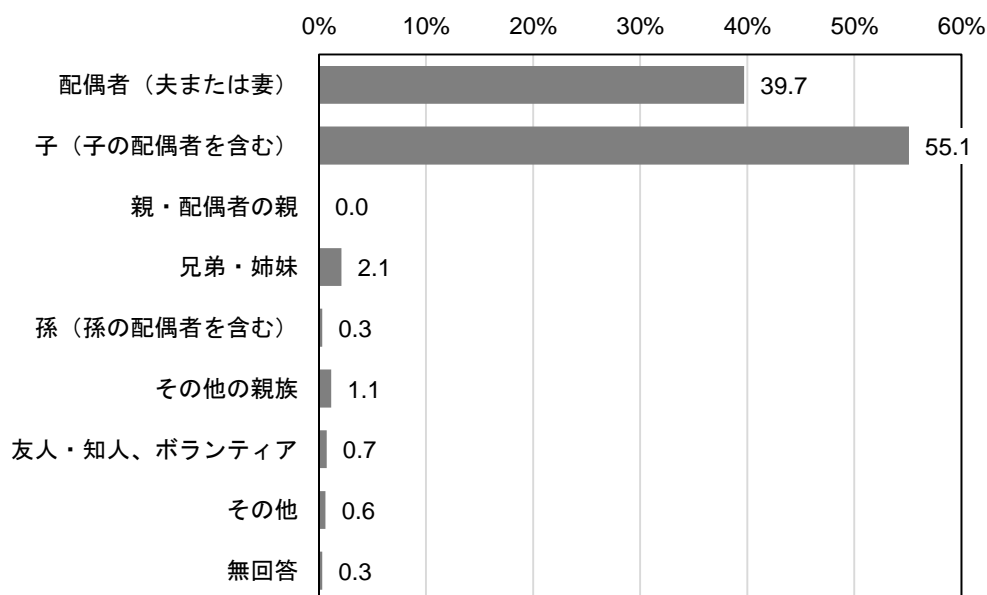
◆ 介護者の有無

- ヘルパーや施設職員以外の介護者の有無については、「いる」が67.9%、「いない」が22.0%となっている。



◆ 主な介護者の続柄

- 主な介護者の続柄については、「子（子の配偶者を含む）」が55.1%と最も多く、次いで、「配偶者（夫または妻）」が39.7%となっている。



(N=1, 659)

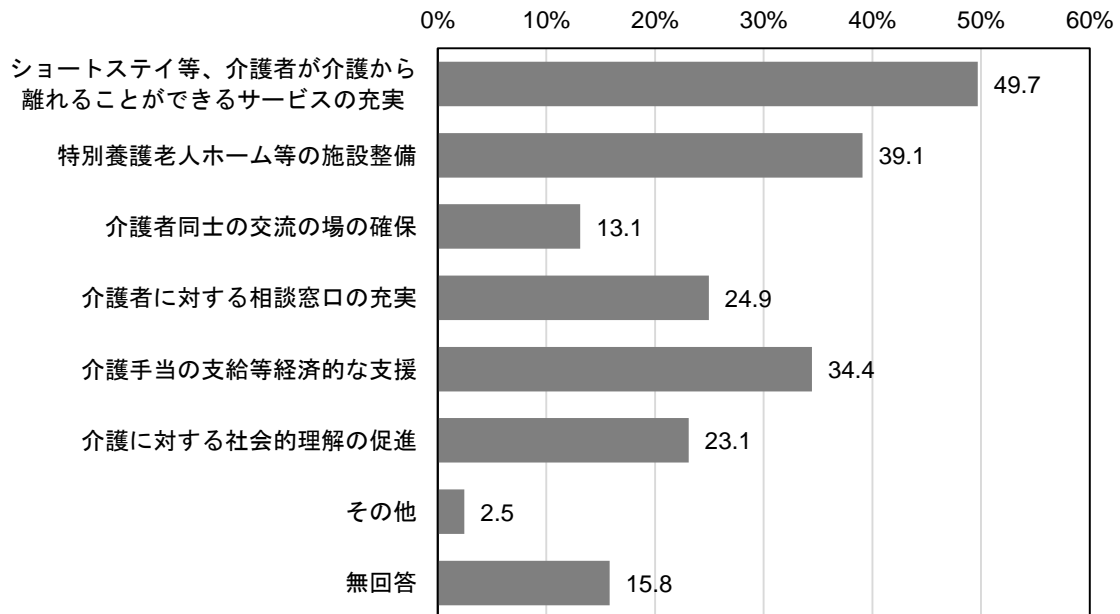
9

家族介護者の状況（家族介護者への質問）

◆ 介護者支援として重要なこと

（複数回答）

- ・介護者支援として重要なことについては、「ショートステイ等、介護者が介護から離れることができるサービスの充実」が49.7%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホーム等の施設整備」が39.1%、「介護手当の支給等経済的な支援」が34.4%となっている。

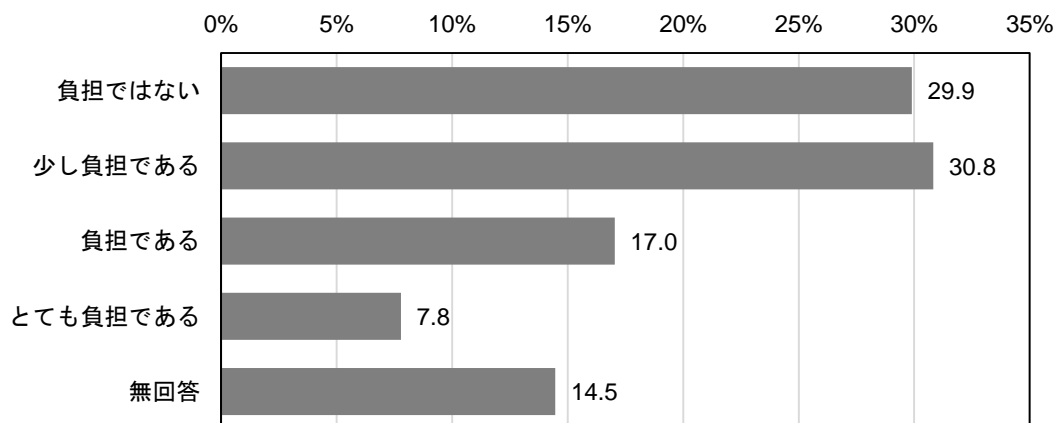


(N=1,632)

◆ 介護の負担感と介護をしていて負担に感じること

【介護の負担感】

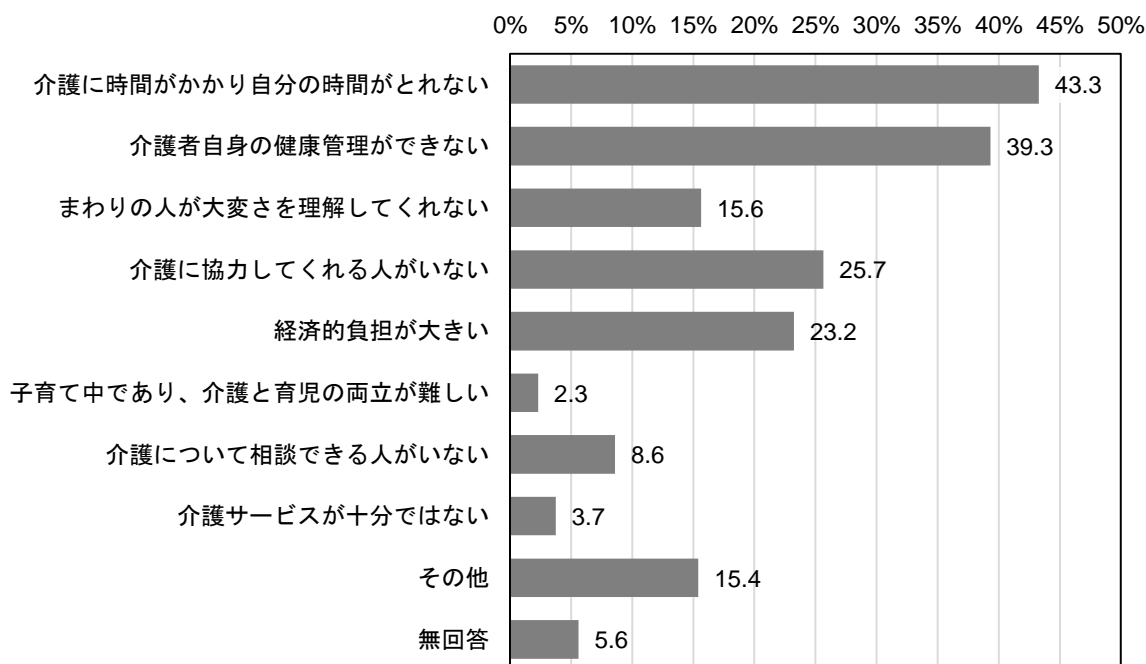
・介護の負担感については、「少し負担である」が30.8%と最も多く、次いで、「負担ではない」が29.9%、「負担である」が17.0%となっている。



(N=1,632)

【介護をしていて負担に感じること（複数回答）】

・「少し負担である」「負担である」「とても負担である」と答えた人に介護をしていて負担に感じることを聞いたところ、「介護に時間がかかり自分の時間がとれない」が43.3%と最も多く、次いで、「介護者自身の健康管理ができない」が39.3%、「介護に協力してくれる人がいない」が25.7%となっている。

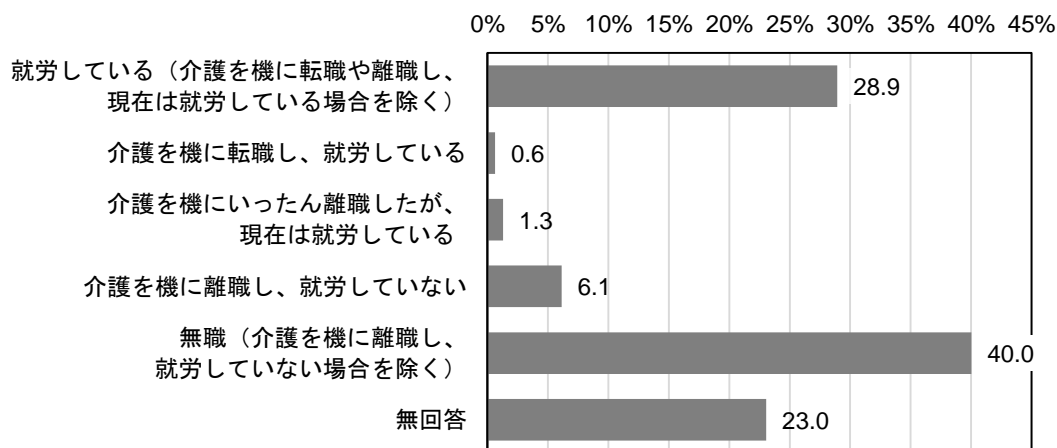


(N=908)

◆ 介護者の就労状況と転職、離職理由

【就労状況】

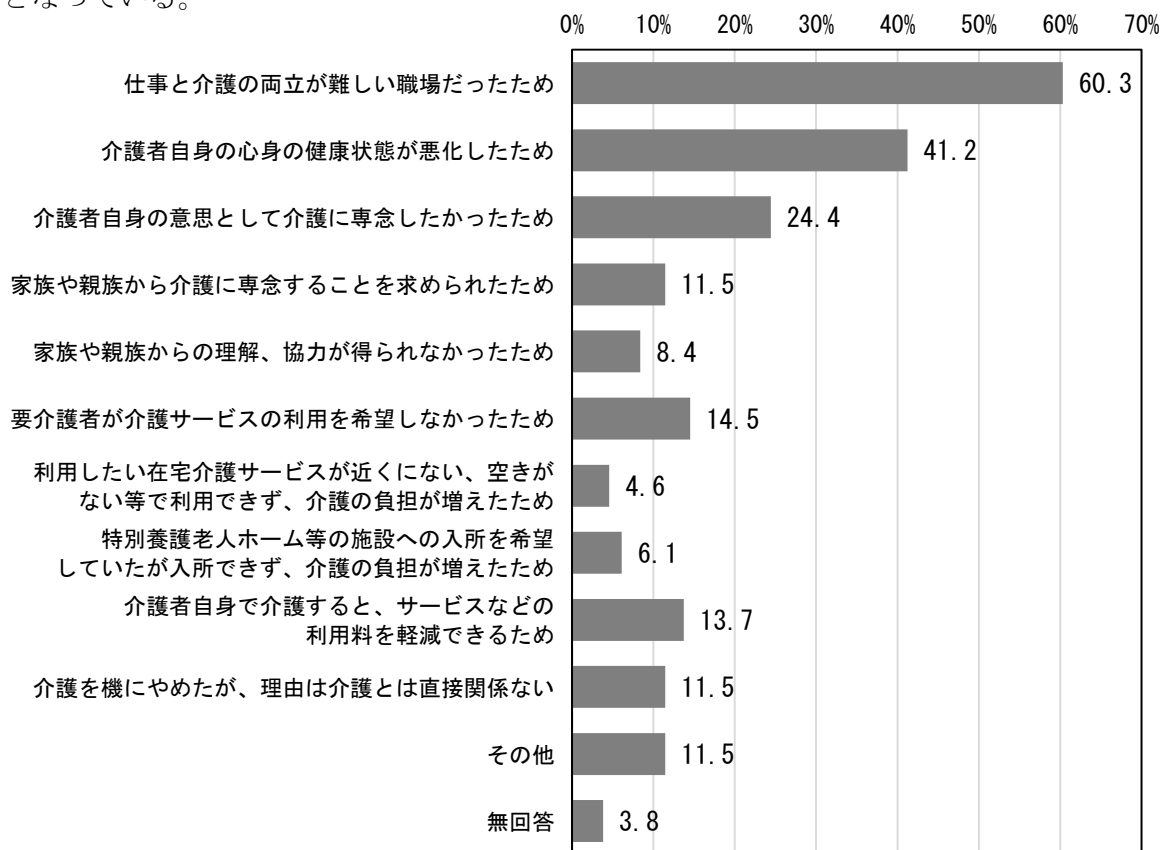
- ・介護者の就労状況については、「無職（介護を機に離職し、就労していない場合を除く）」が40.0%と最も多く、次いで、「就労している（介護を機に転職や離職し、現在は就労している場合を除く）」が28.9%、「介護を機に離職し、就労していない」が6.1%となっている。



(N=1,632)

【転職、離職理由（複数回答）】

- ・「介護を機に転職し、就労している」「介護を機にいったん離職したが、現在は就労している」「介護を機に離職し、就労していない」と答えた人にその理由を聞いたところ、「仕事と介護の両立が難しい職場だったため」が60.3%と最も多く、次いで、「介護者自身の心身の健康状態が悪化したため」が41.2%、「介護者自身の意思として介護に専念したかったため」が24.4%となっている。

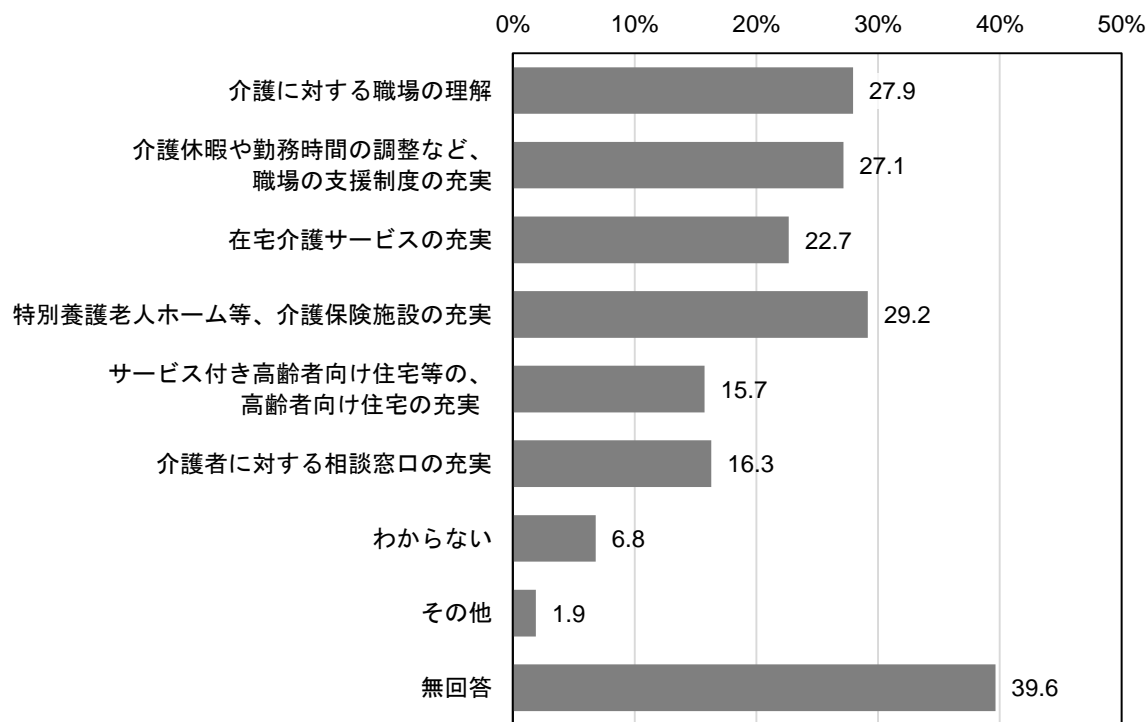


(N=131)

◆ 就労継続に必要な支援

(複数回答)

・就労継続に必要な支援については、「特別養護老人ホーム等、介護保険施設の充実」が29.2%と最も多く、次いで、「介護に対する職場の理解」が27.9%、「介護休暇や勤務時間の調整など、職場の支援制度の充実」が27.1%となっている。



(N=1, 632)